

「学校における実践研究」
推進に関するQ&A集

1. 研究計画の作成

(1) 研究計画作成の基本

Q1 研究計画はいつ頃から作成にあてればよいですか。

A 年度末に1年間の研究活動を総括し、その成果と課題が明らかになったところで、まず、次年度の研究テーマについて考えましょう。研究計画は、次年度の研究テーマが決定した後に、その作成にあたります。一般的には、2月頃からその年度の研究についての総括が始まり、3月中旬には次年度の研究テーマが決定されるでしょう。研究主任は、その新しい研究テーマに沿って研究計画の作成に取りかかります。その後、研究推進委員会でそれを検討し、3月末には、教職員全体に提案できるようにすることが望ましいです。なお、校務分掌等の学校体制が確定した新年度4月に、研究テーマ及び研究計画を教職員で再確認し、研究計画の内容等について修正したり具体化したりしましょう。

Q2 研究計画については、前年度末(3月末)までに何をどの程度提案すればよいのですか。

A 年度末に協議して決定した研究テーマに即し、前年度末にも、研究の大まかな構想は提案しておくべきでしょう。また、校内授業研究会の回数や時期、研究発表研究会を開催する場合はその時期なども念頭に置いた、1年間の研究の流れも提案しておく、次年度の研究がスムーズにスタートできると思います。

ただし、あまり細かく構想したものを提案すると、4月から新しいメンバーになったときに、計画を見直しにくくなったり、決められたことをするという印象を与えたりして、研究推進への意欲が低下させてしまうことにもなりかねません。研究主任としてしっかりと見通しを持っておくと同時に、その見通しを全て提案するのではなく、7~8割程度にとどめて、他の先生からの意見を取り入れる余裕を持っておくことが大切だと思います。

Q3 研究計画はどのような手順で作成すればよいのですか。

A 前年度の研究計画を見直す際に全体会等で呈された意見や教職員に対するアンケートの結果等をもとに、研究推進委員会で原案を作成します。研究計画の立案にあたっては教務主任ともよく相談して、学校行事の年間計画に照らし合わせます。その際、運動会や学芸会、学習発表会等の主要な学校行事と研究全体会及びその準備期間ができるだけ近接しないように、計画を立てていくとよいでしょう。具体的には、指導案の作成時期に主要な学校行事が入らないように配慮しましょう。研究計画の原案が作成された後は、管理職を含めた運営委員会(企画委員会)に諮り、内容を確認します。その後、全体会で研究計画について話し合い、確定とします。その際、教職員全体の総意に基づいて、その内容を設定できることが望ましいです。